

<学校の教育目標>

地域に生きる南台の子

知 かしこく 徳 やさしく 体 げんきよく

「知」、「徳」、「体」相互に関連し、豊かにかかわり合う教育活動を展開する。自分の生まれ育ったところ、過ごしたところを大切に思い、将来自らが暮らすところも大切にでき、広くグローバルな視点からも地域社会をとらえ直すことができる人材、将来地域社会に貢献できる人材の育成を目指す。

令和2年度 中野区立南台小学校～地域コミュニティの核となる学校

つながろう！南台～つながる つなげる南台小

統合再編による開校から3年、地域コミュニティの核となる学校を目指し、「連携教育」を推進する中で、学校の特色化と安定化を図ってきました。本年度は校舎移転の年に当たります。

町会・自治会をはじめ、関係幼稚園保育園、関係諸機関とのつながりを生かした教育活動の活性化を進めることで、安心安全が守られ、地域を生かした教育活動の充実があります。



周囲の方の学校への心寄せ「ボランティアマインド」は、児童に伝わり、相互の「ボランティアマインド」の醸成につながっていく相乗効果が見てとれるようになってきました。

年度末には校舎とお別れをします。「連携教育」と「ボランティアマインド」をキーワードにテーマを「つながろう！南台」と設定し、地域と共有させていただきました。

コロナ禍であっても、教育活動の工夫改善、円滑な校舎移転を進め、「つながる つなげる南台小」として、移転後の教育活動につながるよう、生かせるよう令和2年度の教育活動を進めます。

校舎とお別れの会令和3年2月～3月<予定>

(令和2年7月保護者会資料)

「つながろう！南台」…感謝を込めて

令和2年度は校舎移転に向かう年でした。

学校の教育目標「地域に生きる南台の子 かしこく やさしく げんきよく」を受け、「つながろう！南台」をテーマにスムーズな移転を視野に入れて教育活動を進めてきました。

コロナ禍であり、その時その時の感染状況等を鑑みつつ、安全安心を第一に知恵と工夫を施しながらの学校生活でした。その中で南台小に心寄せるたくさんの方々を支えていただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。

1年間の振り返りも含め「南台 校長室だより集」としてまとめました。お読みいただければ幸いです。校舎は新たな地に移っても南台小学校をよろしく申し上げます。



このような中で学校生活が始まりました。1年生はセーフティ教室として横断歩道の渡り方を学習しました。2年生が植えて育てている野菜です。ナスが特に元気です。3年生は休業中につくっていた共同制作「テトリス」が完成しました。4年生は休業中に書いた「学校もりあげマスコット」のコンテストが始まりそうです。5年生、目立たないところですが、いつもいつも靴箱が整然としっかり整頓されています。6年生は短歌風の詩をつくりました。こんな作品がありました。「楽しみは 小学校で 先生と 図工の学習 楽しむ時間」 楽しみですね。そして、「たてわり班活動」など、まだはじめられない活動もありますが、今は我慢です。待ちましょう。



二週目からは給食です。2日目のスパゲティ・ミートソース、4日目はあんかけやきそば、配膳には給食室の皆さんにもお手伝いいただきました。廊下で待機、先生とすぐに盛り付けて下さいます。とてもありがたかったですね。たくさんの方々にお世話になっています。そして、皆さんも約束を守り、先生方を助け、安全に過ごそうとしていました。



地域の方々にもたくさんお世話になりました。この2週間のとても難しい登下校、見守りをしていただきました。これは初日の正門前です。お昼にコンクリートミキサー車が来ていて、安全誘導をひとつひとつしていただきました。多田神社の前でシルバー人材センターの方と共に誘導して下さる方がいました。広町みらい公園も含めて見守ってくだ



さる方がいました。自転車で学区全体を見回ってくださる方がいました。2つの町会で見守りをする交差点もありました。1年生は民生児童委員さんと毎日一緒に下校しました。

当たり前ではなく、とてもありがたいことだと思います。「さようなら、いつもありがとうございます。」としっかり立ち止まってお礼のあいさつを言える人が増えたと思います。



今日、明日と改めて「ありがとう」の気持ちを伝えられるといいですね。これも「つながろう！ 南台」です。今日で3週間続いたホームページでの全校朝会はおしまいです。感想を話に来てくれた人たちありがとう。お子様と一緒に見て下さった保護者の皆様もありがとうございます。一言一言とてもうれしかったです。明日は久しぶりにクラス全体で過ごす日です。朝の時間は校内放送で6年生と一緒に全校朝会をします。みんなで会うことを楽しみにしてください。では、今日も「ありがとうございます」のあいさつを大切に、1日元気で過ごしましょう。



南台 校長室だより

分散型セーフティ教室～お家で、親子で

保護者会の際に「分散型セーフティ教室」のご案内を配布しています。全校児童が校庭や体育館に集まることはまだできません。同様に、全保護者の方を対象とした授業公開も、保護者の皆様が体育館に集まっての講演会などもまだできません。

このような中ですので、例年、土曜公開日に実施している「セーフティ教室」も従来の形での実施を見送ります。「セーフティ教室」は安心・安全にかかわる内容ですので、適切な時期に実施することが必要です。1年生の交通安全指導（歩行訓練：横断歩道の渡り方）も学校再開後、早い段階で実施しました。



安心・安全の学習を話し合いを親子で！

更に、学校での学習や安全指導で取り上げていても、ご家庭における保護者の方からの指導や話し合いが大切なことは変わりません。

そこで今年度は、学年毎に分散した期日に安心・安全にかかわる指導を実施、その際にご家庭にメール配信でお知らせします。同時にHP上に指導に活用した資料や動画を掲載します。その後、ご家庭で、親子で安心・安全にかかわる学習を振り返っていただくことを重視します。(例えば、2年生は連れ去り防止で「いかのおすし」のVTRをリンクを貼った警視庁のHPから見られます。)一緒に見て、話し合ってください。

安心・安全は日常の声かけから

既に、本校HPの「安心・安全 セーフティ教室」のコーナーには、警視庁HPや都教委HP等のリンクが貼られています。その中に「日常的な安全指導における 一声（ひとこえ）事例」があります。大きな事件、事故になってしまってから、一声かけておけばよかったということはよく耳にします。

この一声事例は、学校の安全指導における教職員向けのものですが、ご家庭でも十分に活用できるものです。「傘を振り回さないこと」、「自動車の運転手さんとのアイコンタクト」等は、むしろご家族で一緒にの時のほうが話す場面も具体的になるのではないのでしょうか。

「生活安全」、「交通安全」、「災害安全」と安全指導には3つの領域があり、この3つの分かれての「日常の一声」が掲載されてますので、どうぞお試しください。

どの学年の学習内容でも話題に…

今後、学年にかかわらず、学習内容を全校にメール配信でお伝えしますので、その後、HPをご覧になりながら、安心・安全についてお子様と話し合ってください。

学校で重点的に取り上げたいのは、SNS（情報モラル）と自転車です。ここまで、新型コロナウイルス感染症対策、歩行訓練、自転車の乗り方を学習してきました。今後、SNS南台ルール、SOSの出し方、連れ去り防止等を取り上げていきます。

今年度のセーフティ教室は、学校でも家庭でも話し合うことを大切に実施していきます。子供たちの安心・安全にかかわる学習が充実しますようご理解、ご協力をお願いします。



南台 校長室だより

令和2年度

No. 39

離任された先生方との会

4月以降、様々な行事を残念ながら取りやめにしてきました。しかし、1年生を迎える会のようにできることを工夫して行った行事もあります。離任式についても取りやめにしていました。しかし、3月から4月にかけてお別れが子供たちの中で中途半端になっているなど感じていたことや離任された担任の先生の学級がクラス替えをしていないことなどから、4人の先生方に来校していただき、お別れをする機会「離任された先生方との会」を設けようと6月中旬に計画を進めていました。子供たちはとても楽しみにしていました。



＜モニターで教室での校歌を聴きます＞

しかし、7月に入り社会の状況は少しずつ悪くなり、実施方法を最後まで検討していました。全校で集まることはできませんが、会議室にお越しいただき、会議室からGoogle Meetで全学級に配信する方法で「離任された先生方との会」を行いました。

代表の4名の児童が各先生方に作文を読み上げ、先生方からは全校に向けてメッセージが配信されました。途中、映像が乱れたり、ハウリングが起きたり、時間の差も生じましたが何とか実施することができました。

先生方との思い出を涙ながらに語る子…、先生に教わった大切な言葉を繰り返して話す子…、これからどんな学校にしたいかを先生に伝えようとする子…どの子もしっかり思い出や教わったことを思い起こしていました。

4人の先生方からも子供たちへ、そして南台小へのあたたかいメッセージをいただきました。どの先生も南台小開校時に携わった先生方で学校のために様々なことに取り組んでいただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。



会の後は各教室へ…

会が終わると、代表の4人の子が各クラスにご案内してそこで昨年度担任していた学級での話になりました。今度は生で語りかけてくださいました。「学年でお願いします」と隣の学級にも訪問して下さる先生方に大変ありがたく思いました。

出会いと別れの大切さ…

今回の先生方の訪問で、しっかりとお別れができたと思います。子供たちには、出会いと別れを大切にする人に成長して行って欲しいと願っています。そして、出会いと別れを大切にすることは、一期一会も大切にすることは、貴重な体験をさせていただきました。



南台 校長室だより

令和2年度

No. 40

健康で安全、充実した夏休みを

いよいよ明日から夏休みです。子供たちは学校再開後、初めての分散登校、そして簡易給食のスタート、7月には通常授業、給食も通常になりました。例年だと7月21日から夏休みですが、そこから約2週間の授業延長でした。たくさんの制限のある中での学校生活でしたが、子供たちも先生たちもとてもがんばったと思います。学校生活は子供と先生でつくるものです。時間をつくろうとしたり、面白いアイデアを出したり、我慢もしたり、悩んだり…よりよい学校生活にしようとする姿が垣間見えることがたくさんありました。

3年1組のある子が校長室を訪ねてきました。「総合の学習で、パソコンで調べたのだけれど、分からないので質問させてください。」とのことでした。その子から「休業期間中に気をつけていたことはどんなことですか？」と質問があり4つのことを答えました。

- ①一人ひとりがお家や学童で元気に過ごしているか確認をしていました。みんなのお家の状況が違うので、応援できたらと思っていました。
- ②学校の様子が見えにくく、分かりにくいのでいろいろなお知らせをHPやメール等、様々な方法で出していました。
- ③先生たちの健康を守るため、お仕事の仕方を考え工夫していました。先生たちも仕事を工夫できるように考えていました。
- ④新たなことがギリギリで決まるので、学校がはじまることと、お休みが続くことのいつも両方の準備をしていました。

この質問のおかげで、4月からのことを振り返ることができ、ありがたく思っています。子供たちもここまでのがんばりや課題を振り返って夏休みを迎えます。

社会状況はあまりよくありません。子供たちには、安全と健康を第一に考えて、よりよい充実した夏休みを過ごして欲しいと思っています。

よりよい授業を目指して～切磋琢磨

本校では各々の授業を公開し、授業を見合って研鑽を重ねています。7月に入って全員が公開授業（視点をもった授業実践、管理職は必ず参観します）に取り組んでいます。合間を見て参観に来る先生も多く、刺激を受けながら、よりよい授業の在り方について指摘し合って学んでいます。先輩の実践から学ぼうとする姿勢が十分感じられる話し合いにもなります。授業では、30人以上の斉授業、マスク着用でエアコン全開の中なので、ある程度の大きさの声をしっかり出させるようにしようと共通の課題になっています。



＜2年体育＞



＜5年社会＞

学校もりあげマスコット

休業期間中に4年生が取り組んだ「学校もりあげマスコット」について、全校児童で投票しました。どれも楽しかったり、面白かったり、元気が出そうな作品でした。投票結果の発表があり、5つの作品が選ばれました。また、この日は関係の町会長さんたちの集まり「南台小関係町会自治会長学校連絡会」があり、7町会自治会の会長さんにも1点ずつ選んでもらいました。様々な場面での活用も考えていきたいと思っています。





南台 校長室だより

令和2年度

No. 41

おだやかに授業再開

1日、元気な子供たちの声が学校に戻ってきました。各々の教室では担任の先生からのメッセージや連絡が黒板に記され、久しぶりに会う友達との会話も弾みます。放送での全校朝会では、学校だよりの「あいさつ・返事」、「あつまり」、「あとしまつ」の話をしました。各教室でも取り上げられ、改めて全校で大切にしていきます。教室での学習の様子を見て回る中、教室でゲーム、新たなクラスの約束事のお話、自由研究の発表…と様々ですが、どの教室もおだやかに、そして元気にスタートできた感があります。

9月も下校後の個別ケア、個別支援の時間をとり、担任と個々の子供たちが話をしたり、相談できるようにしながら学校生活を送れるようにしていきます。夏休み中の事件事故については不審者情報以外は学校に連絡は入っていません。

夏休み前、生活指導主任から次のような話をしています。夏休みを終えた後も、今後も大切にしていきたいことです。子供たちの元気な登校をうれしく思っています。



1 「ちゃんと寝て、ちゃんと起きなさい」

子供の体は成長するようになってきています。しかし、良い睡眠をとらないと成長に必要なホルモンがちゃんとできない。「寝る直前までゲーム・テレビ・スマホの画面を見ること」は良い睡眠につながらないと言われている。寝る前の行動と寝る時間に気を付けて生活しよう。

2 「ちゃんと頭を使いなさい」

学校生活に比べて周りに大人がいない時間が増える人もいます。自分がやろうとしていることが正しいかどうか考えてから行動して欲しい。「宿題をやらされる」だけではなく、何かに興味をもって進んで学びに向かって欲しい。調べてみよう・やってみようの気持ちをもちましょう。

3 「自分の身は、自分で守りなさい」

事件や事故に巻き込まれないこと・事件や事故を起こさないこと、不審者対応・自転車の乗り方・SNSの使い方を大人と確認した上で生活して欲しい。

8月3日(月)には、他地域の小学生がキックスケーターで交通事故(意識不明)

8月4日(火)には、区内の小学生が自転車に乗っていて交通事故

「毎日、どこかで誰かが事故に遭っている」それが自分にならないように、自分で気を付けなさい。ゲーム・動画視聴・テレビ・漫画は悪いことではない。問題となるのはやり方・使い方。好きなことだけダラダラやる休みではなく「自分の心や体の成長につながる素敵な夏休み」を自分で作ってください。

9月1日にまた全員で会いましょう

感染症対策とよりよい授業の工夫

8月6日付で文部科学省から新たな学校生活のマニュアルが出されました。「マスクを着用する」、「15分以上の会話を避ける」、「1メートルの距離をとる」ということは変わりありません。しかし、学校生活の中ではこの3つができない場面があります。給食や食事の場面、体育学習の場面、うがいをする場面等です。特にマスクを外している場面での接触に気を配っていくことが肝要だと思っています。また、手洗いで対応を重視していくこともこれまでと変わりません。まだまだ制限も多いですが、感染症対策の中でもよりよい授業の工夫は求められています。

南台 校長室だより

令和2年度

No. 42

急な雨にも… 暑さにも…

週明けの昨日、朝から雨が降ったりやんだり、降っている間も急に強くなったりしていました。特に、登校時には、強い雨の中、濡れながらの登校になってしまった子もいました。若干、道に広がっている子がいましたが、全体的には傘もなかなか上手にさして、広がらずに歩いていました。Google Meetを活用した全校朝会の中では、九州の台風の話とともに登校の様子をほめました。放送室から行いましたが、あいさつの6年生2名にはインタビューにも答えてもらいました。全校朝会の話は「あいさつを言葉につなげよう」という内容でしたが、その中で「いいなという言葉は何ですか?」と問いました。「ありがとう」と「がんばって」が上がり、その理由も教えてもらいました。画面からは、よく見ている様子が伝わってきて、聞きながら考えている子がたくさんいたと思います。こんな週初めの朝でした。

その後も雨は、降ったりやんだりが続きました。掃除の時間にも急に激しい雨が降ってきて、玄関掃除の子は避難しました。今後も、激しい風雨の時があると思います。台風接近の際は、事前にできる限り情報発信すると共に、子供たちへの安全指導も継続的に実施していきます。



算数少数数学習を多目的室に移動



熱中症(WBGT)計を校庭常備

残暑厳しい中ですので、熱中症対策も欠かせません。毎日の健康観察と水分補給は十分に行うことはもちろんですが、児童自らが気をつけるように指導をしています。この他、右のようなことにも取り組んでいます。日常から十分に気を付けるようご家庭でも話題にしてください。



日陰を上手く活用しての体育学習 発育測定の際の保健指導(体温調整)



たてわり班活動が始動

夏季休業中に実施を検討してきた、たてわり班活動がはじまります。校庭を活用して広がった形での実施を計画しています。12日に1回目の活動があります。事前に6年生と1年生の顔合わせがありました。これも校庭です。例年の内容と同じことは難しいですが、貴重なかわり合いの場としていきます。



しばらくの間、「校長室だより」を紙面でも発行

10月24日(土)予定の運動会をはじめ、社会科見学等の校外学習、PC貸与を含んだオンライン学習、いじめ防止・対策、特別支援教育、学校支援ボランティアの状況…等について、細かな情報提供が必要だと感じています。そこで、しばらくの間、「校長室だより」は紙面発行も行います。HP掲載のみの情報もありますので、両面での情報発信に努めます。是非、ホームページも定期的に見てください。

児童会によるTA(楽しくあいさつ)キャンペーンが始まりました!!~9月18日まで



南台 校長室だより

令和2年度

No. 43

学校としてのいじめ防止対策

短い夏季休業でしたが、その間にわたしは「いじめ防止対策」のことについて少し時間をとって調べ、考えることができました。時間をとって調べようと思ったのは、コロナ禍の学校休業期間中に「いじめ」にかかわる2つのテレビ番組を見たことがきっかけです。どちらも中野にかかわる内容でした。わたしは中野生まれ、中野育ちですが、自分自身の小中学校時代のこと、生まれ育った中野でのことを思い出しながら、「いじめ防止対策」にかかわるこれまでの国や都、区への対応の歴史や現在の状況等を少し詳しく調べ、考えることができました。改めて深く感じたこともたくさんありました。

きっかけはテレビ番組の視聴でしたが、本校では「いじめ防止対策」を重点にしていることもありました。そして、それ以上に、「いじめは決して許さない」、「いじめを起こさない、許さない、見つけたら撲滅させる」ことを更に自分自身が強く認識していきたいと思ったからです。今回、調べたことや感じたこと、考えたことは、機会を見ながら児童にも保護者の皆様にも地域の方々にもお伝えできたらと思っています。

夏季休業前の7月に中野区「いじめ等、児童・生徒間の問題の未然防止と早期発見のためのアンケート」を実施しました。中野区では例年3回（6月、11月、2月）に実施しますが、今年は学校休業もあったため、7月になりました。1回目は児童と保護者の方へのアンケートでした。アンケートをもとに、様々な児童から聞き取りを行い、事実を確かめながら、状況を掴み指導に当たります。アンケートだけでなく、教職員の発見、児童からの訴え、教育相談週間での話題、保護者の方からご連絡いただく場合もあります。

どれもできる限り迅速に、そして「いじめ対策委員会」を立ち上げる等、組織的に対応するよう努めています。

学校いじめ防止基本方針～HPをご覧ください

本校では、中野区教育委員会「中野区いじめ防止基本方針」を指針として、「中野区立南台小学校 いじめ防止基本方針」を定めています。本校のホームページに掲載していますので、ご覧下さい。現在、中野区では、令和3年3月を予定して「中野区いじめ防止基本方針の改定」と「いじめ防止対策の条例化」を進めています。この改定や条例化に沿って、本校の基本方針も改定を進めていきます。

夏季休業中に東京都教育委員会から「いじめ防止等の対策を推進する研究」の調査協力校の依頼を受け、お引き受けしました。まずは様々な内容の周知に努めます。保護者、地域の方にご協力いただくこともあると思います。よろしくお願いします。

TA（楽しく あいさつ）キャンペーン初日

TAキャンペーン、夏休み前から代表委員会で話し合い、ポスターやカードの準備を進めてきました。今週火曜、はりきってスタートしました。大変素晴らしいと思います。児童会からのあいさつのポイントは、①相手の目を見て ②自分から ③聞こえる声で の3つです。各教室にポスターが貼られ、スタンプカードが配られています。昨日のキャンペーン初日、正門も北門も少し活気が増しました。10月には南中野中校区小中連携あいさつ強調週間があります。様々な機会をとらえ、あいさつの輪が広がって行って欲しいと思っています。





南台 校長室だより

令和2年度

No. 44

子供たちの活躍の場とその支え

今週から始まったTA（たのしく あいさつ）キャンペーンのことについて触れてきましたが、保育園や幼稚園に通う小さい兄弟もスタンプカードをもってあいさつをしてくれる姿がありました。保護者の方々もニコニコしながら見守ってくださいました。ありがとうございます。

4年生が学校休業中に考えてきた「学校盛り上げマスコット」の学校代表の作品が5つ、玄関に飾られています。この他に関係町会自治会の会長さんに選んでいただいた作品もあるので、どこかで紹介できる場があればと思っています。

また、夏休み自由研究作品展は今回は1カ所での実施を見送り、各教室・廊下に展示しています。見て回ると楽しいもの、工夫しているものがたくさんあります。その中で「ゆちょアイデア貯金箱コンクール」に24作品の応募がありました。大変多い数です。このコンクールは作品を写真に収めて応募します。写真撮影には中野南台郵便局にご協力いただいています。局長さんが自ら撮影してくださっています。更に、期間を設けて南台郵便局にも展示させていただくことになっています。このような郵便局との連携協力体制は本校ならではのことで、大変ありがたいことです。展示を楽しみにしててください。

例年実施される「社会を明るくする運動（社明運動）」の南中野地区のイベントは中止になりましたが、作文コンクールは実施されました。担当の方が「今年はこのような状況なので無理しないでください。」と労ってくださっていました。また、本校は人権の花運動の協力校であり、3年生が面倒を見てくれています。加えて協力校として人権メッセージの担当校にもなっています。

6年生が夏休み中の課題の一部で、「社明運動の作文」と「人権メッセージ」に取り組み、たくさんの力作がありました。先日、「社明運動の作文」の区審査の結果があり、本校6年生の作品が中野区の代表として東京都の審査に進むという連絡が入りました。また、「人権メッセージ」にも2点作品をお願いできたらありがたいという連絡がありました。

音楽隊も朝練習に取り組んでいます。地域の方々からは、「感染状況を見ながらですが、出演の場がくれたらいいと思っています。その時は是非音楽隊お願いします。」と相談を受けています。

子供たちの活動のよさを見つけていただいたり、活躍の場を考えていただけるような支えに感謝します。

冒頭のTAキャンペーンの他に、児童会のボランティア委員会では、「医療従事者の方にエールを！」という募金も含めての活動を9月下旬から実施するよう計画しています。

いじめ防止のベースは日常の人権教育・道徳教育

前回、「学校としてのいじめ防止対策」について触れました。本校ホームページの「南台小学校学校いじめ防止基本方針」を是非ご覧下さい。アンケートのことや「いじめ対策委員会」での組織的対応のこと等を記しました。今年度の「いじめ認知」したものについては、教育委員会に報告、必要に応じてご家庭にも連絡をとり、解決していても解消するまで見守りや確認を続けています。

対策を主に記しましたが、いじめ防止のベースになるのは、日常の人権教育、道徳教育です。「いじめは決して許されないことであり、場合によっては犯罪である」ということを念頭に「人を大切にする」ということについて、学校でも家庭でも地域でも考えていければと思っています。



南台 校長室だより

令和2年度

No. 46

土曜授業の様子

前号でもお伝えしたように、今月の土曜授業は学校公開としての実施は見送られています。1年生の「あさがお」を学校に戻していただく日が、今日までになっていたため、雨の中、持ってきてくださる1年生の保護者の方がたくさんいらっしゃいました。ありがとうございます。きっと学校での様子、授業の様子もご覧になりたいだろうなあ、そしてお見せしたいなあと思いつつ見ていました。朝は、地域町会の方も見守っての登校で車の通行は多少ありましたが、上手に登校しました。見守りの方から、「立ち止まって、『いつもありがとうございます。』という子がいて気持ちよかったです。」というお話をいただきました。4時間の授業の間、校内を見て回りながら、子供たちが一生懸命学習している様子を見ました。3時間目の様子を写真に収めたので紹介します。



登校の様子



1-1：体力テスト



1-2：学習の仕方のお話



1-3：国語の音読



2-1：算数複数で指導



2-2：見守りの方へのお手紙



2-3：テストと個人作業



3-1：総合のまとめ



3-2：PC室で調べ学習



3-3：国語グループ学習



4-1：書写「友」



4-2：書写「友」



5-1：総合のまとめ



5-2：社会水産業



6-1：書写「湖」



6-2：書写「湖」



南台 校長室だより

令和2年度

No. 47

6年生と進める全校朝会

学校再開以来、朝の時間は学級で過ごすことを大切にしていました。9月からは週始めに全校朝会をGoogle Meetを使って放送室と各教室をつないで実施しています。6年生のあいさつからはじまり、校長講話、週目標と続くのは今までと変わりありません。しかし、6年生にはあいさつの後、そのまま残ってもらって校長講話にも登場してもらっています。

今週の話の内容は、体力テストで5、6年生が1、2年生のお世話をやさしく務めてくれたこと、5年生が環境学習で学んだことを4年生に伝える機会があり、異学年交流が進んでいること、3年生が「人権の花運動」に取り組んでいて、なかなか大きくならない花でもやさしくお世話を続けていること等でした。加えて「〇〇の秋」について話をしました。2人の6年生にもインタビューしながら進めました。Aさんの「秋」は「読書の秋」でした。本が大好きな彼はその理由もちゃんと答えてくれました。そして、「ミステリー」が好きなことまで話してくれました。また、Bさんの「秋」は「食欲の秋」でした。近所のスーパーに秋の食材が並んでいることを話してくれ、好きな食材とその料理まで答えてくれました。

放送が終わって職員室の入ると職員室にいた先生方が、「よく答えていたね。」「みんな楽しかったと思うよ。」と口々に褒めてくれました。2人もうれしそうで、やってもらってよかったなと思っています。(実は全校朝会の前にはとても緊張もしていたようでした。)コロナ禍でまだ体育館、校庭での全校朝会のような集まりを控えています。反面、放送で行いながらも少しずつ「6年生と進める」放送を生かした全校朝会になってきていることをうれしく思っています。今後も工夫改善を進めていきます。

10月24日は第4回運動会～運動会情報

既にお手紙を配布しています。10月24日(土)の午前中に学年毎の入れ替え制で行います。かけっこ、徒競走と団体競技を学年毎30分で実施していきます。競技終了後、ひとつ上の学年の競技を校庭で見る予定です。その他の学年は教室でオンラインで見る予定です。係活動は6年生のみ内容を絞って実施します。ですので、開始時は1年と6年、終了時は5年と6年が校庭にいます。また、全校の競技を生で見ることができないので、前日23日は児童のみで開会式とかけっこ、徒競走を実施します。得点も入れる予定です。

実施に当たり、PTA運営委員の方々には、保護者の皆様の入れ替え誘導を行っていただきます。本校は毎年、「思いやり&ゆずり合い」を大事にした運動会ですが、入れ替えについても思いやりとゆずり合いを大事に動いてくださればありがたいです。コロナ禍ですが、子供たちにとってできる限りのことを考えて実施してまいりますので、ご協力をお願いします。



図書の寄贈がありました

南台四丁目西町会の会合の際に、「歴史の本のシリーズがあるので…よかったら学校で…」というお話を般林久美(はんりひさみ)さんからいただきました。「日本の100人」と「歴史ミステリー」という雑誌他です。先日、鹿野昭人町会長と共に届けてくださいました。早速、6年生の廊下で読めるようにしました。大事に活用していきます。



南台 校長室だより

令和2年度

No. 49

明日、通知表（あゆみ）をお渡しします

今年度、平成29年告示の学習指導要領が全面実施となりました。今回の改訂では、知・徳・体にわたる「生きる力」を子供に育むために、「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を総合的にとらえて構造化が為されています。学習する子供の視点に立ち、育成を目指す資質・能力の要素が三つの柱で整理されたのです。その柱とは、以下のものです。

○知識及び技能→何を理解しているのか何ができるか

○思考力、判断力、表現力等→理解していること・できることをどう使うか

○学びに向かう力、人間性等→どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

この資質・能力は、学校では全教育活動で育成していくものです。そして、そこには地域、家庭との連携がより一層重要視されています。わたしは、この資質・能力は地域でも家庭でも意識して、そして共に育成していくものだと思っています。

今回、この三つの柱に基づいて、全ての教科等の目標及び内容も再整理されました。このことに伴い改訂した通知表「あゆみ」を、昨日の保護者会でお示しました。特に大きく変更したのが、観点別学習状況の評価の観点です。次の3観点になります。

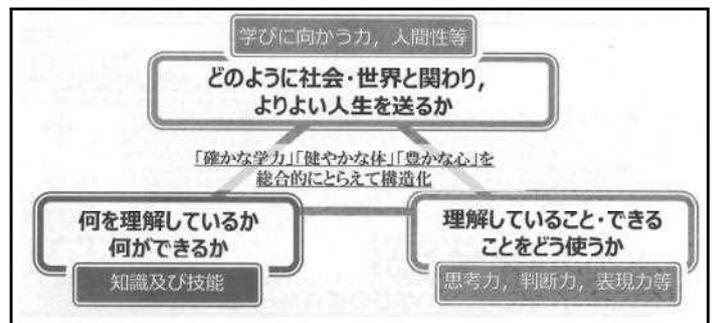
○知識・技能

○思考・判断・表現

○主体的に学習に取り組む態度

目指すべき資質・能力の中で、観点別評価（評定）になじまないものもあります。特に「学びに向かう力、人間性」には「感性」や「思いやり」等もあります。そこで、通知表では「主体的に学習の取り組む態度」という表現での評価（評定）になっています。感性や思いやり等については一人一人のよい点や可能性、進歩の状況等を見取りながら、所見欄で積極的に取り上げると共に日常的に児童に伝えるよう努めています。

そもそも通知表（あゆみ）を含む評価の機能は、



- ① 児童のよさと可能性を発見するためのもの
 - ② 児童自身の自己変革を促すもの
 - ③ ①②を明らかにするために指導が適切であったかを確認するもの
- です。

通知表も「上がった」「下がった」ではなく、「どのような学びがあったか。」「学びが身に付いているか。」ということが大事です。そして、わたしたち教師は、この学習評価を教え方、授業改善に生かさなければなりません。また、子供たちにとってはこの学習評価を自分自身の学びの振り返りにつなげていくことに意味があります。

「何ができるようになったのか。」「何が身に付いたのか。」、そして「内面の育ちはどうなのか。」というような視点をもって、行動面、所見欄、出欠等も含め通知表「あゆみ」全体を見ていただければ幸いです。

明日は子供たちに担任から心を込めて通知表（あゆみ）を渡します。ご家庭では、まず子供たちの頑張りを是非ほめてあげてください。そして、課題についても話し合っただけであればと思います。このことも子供たちの「よさと可能性を伸ばすこと」、「自己変革を促すこと」につながっていきます。

南台 校長室だより

速報：3年社会科見学

バスや電車を使った校外学習について様々に検討を重ねてきました。本日、3年生が区内めぐりに出かけました。見学地は、①桃花小屋上から周囲を見渡す ②大和町の農家 ③歴史民俗資料館 ④哲学堂公園（昼食地） ⑤宝仙寺です。この他、バスの車窓からの景色や道路のアップダウン等も見学の内容です。クラス毎の見学で1組から3組が時間差で見学を進めました。わたしは2組のバスの引率でしたので、その様子をお伝えします。

まず、出発の会です。初めてなのにとってもよい態度で、やる気を感じました。子供たちが楽しみなことは「農家」のことが多く、どんな仕事か？ どんな作物か？という疑問を発表してくれました。しおりのねらいともマッチしていました。

バス車内ではめあてを確認、バス車窓から町の様子を見学しました。環七通りや神田川を通過しながら、台地が東西に延びていて坂が多い中野区は川も東西、鉄道も東西という話があり、十貫坂を上りながら坂を感じていました。杉山公園を左手に見て、まず桃花小に到着です。校長先生自ら対応してくださり、職員室を通過して屋上に上がり、新宿のビル群や中野北口のキリン本社や明治大学の風景を見ました。桃花小のご配慮に感謝です。



次に大和町の松本農園まで早稲田通りから歩いて向かいました。栽培者の松本さんから畑全体を歩いて説明を受け、年間を通じて40種類の野菜を育てていること、種まきをずらすことで収穫もずらしていること、(1つの野菜で3回ぐらいずらすようです) 前の年のうまうまいかなかったことを次の年に生かしていることなどを聞いてきました。

ケールと芽キャベツのかけあわせってプチベールという栄養とうまみのある野菜を開発したり、杉並中野の農家で地元提供したりしていること等を教えていただきました。最後にはたくさんの質問も出て、バス車内では野菜の種類や農業機械の話に華が咲いていました。給食に出せないかなあと思う中、歴史民俗資料館に向かいます。松本さんの野菜は大和町の畑前と杉並区のファーマーズマーケットで売られているようです。



中野区に農家は10軒ほどあるようです。是非中野の野菜を食べてみたいと思いました。

リニューアルした「れきみん」には初めて行く子がほとんどでした。常設の映像展示にはタッチパネルやプロジェクションマッピングのようなものがあり、興味津々で見ている子、昔の家の再現の場所で見ている人がいました。帰り際に庭園の横の大きな椎の木、大きな漬物樽や木の水道管も見ました。もう少し時間があってもよかったかと思います。



哲学堂でのお弁当、久しぶりに外でみんなで食べるお弁当はとても楽しそうでした。蚊が来襲し、困っている子もたくさんいました。哲学堂の中を散策し、集合写真を撮り、様々な展示を見て最後に宝仙寺に向かいます。



中野通りを南下、西武新宿線を渡り旧新井小学校を見ると既に新校舎の準備が始まっていて校舎はもうありませんでした。左に新井薬師、右に北野神社を見ながらさらに中野駅に向かい、中野サンプラザ、中野区役所、JR中央線中野駅を過ぎ、朝通った道を逆に進み青梅街道に入って宝仙寺に到着です。



見上げるような三重の塔、中野町役場跡の碑もあり、今の中野区役所がこの地にあったことが分かります。見学を全て終え、学校へ。バスの中では「疲れたあ」という声も「楽しかったなあ」という声も聞かれます。

初めての貸し切りバスによる校外学習でした。コロナ禍での社会科見学、3年担任の先生方の知恵と工夫のコース設定でした。貴重な体験ができたと思います。

2組中心の見学のレポートになってしまいましたが、1組、3組も順序や時間は異なりますが同じ見学コースです。学校に戻ると既に1組も3組も終わりの会を終えていて、様子を聞くと学習場面での意欲がよかったようです。

3年生になって新しいクラスでの初めての校外学習、また貸切バスを使った初めての校外学習でもありました。子供たちはこの初めての重なる中で、なかなかよく学習していたと思っています。もちろん課題もありますが、褒めることもたくさんありました。

※速報でHPにもアップしていくので、お子様と社会科見学の様子をお話するきっかけに使っていただければ幸いです。



南台 校長室だより

終業式・始業式の言葉～後期一週間

後期開始から一週間、運動会まで一週間となりました。前期終業式、後期始業式は放送室と各教室をつないでGoogle Meetで実施しました。児童代表の言葉は6年生と3年生でした。この児童代表の言葉を聞きながら各々が自分のことを振り返ったり、考えたりすることが大切です。6年生も3年生も立派でした。せっかくなので紹介します。まず、6年生の前期終業式の言葉です。

6年生前期終業式の言葉

最高学年として前期を振り返って

私は前期で頑張ったことが2つあります。

一つ目は委員会活動についてです。私は5年生の時と同じボランティア委員会に入りました。委員長決めて委員長になれませんでした。けれど、副委員長にはなれました。委員長にはなれなかったけれど、副委員長として委員長を支えることができたと思っています。今、ボランティア委員会では「医療従事者にエールを！」という大きな活動を行っています。この活動は後期まで続く活動なので、5年生や6年生のみんなと協力して後期もがんばりたいです。

二つ目はたてわり班活動についてです。私は今回リーダーとなってみんなをまとめました。ですが、下学年が言うことを聞いてくれなくてだいが苦戦してしまいました。その時、担当の福谷先生が手を貸してくれました。そのおかげでたてわりが無事終わりました。そこから私は、たてわり班活動は私たちが進めるものなので、もっと6年生同士協力して取り組んでいけないと感じました。でも、今回の失敗があったことで次につながると思いました。次回のたてわり班活動ではリーダーにはなれないけれど、サポートすることはできるので、そこをがんばりたいと思いました。

そして、まだ前期でやれなかったことを後期ではやりたいと思っています。後期には大きな行事がたくさん残っているので、みんなと協力して全力でがんばりたいと思います。(6年1組 細田ひなた)

ぼくは6年生の前期でできるようになったことと後期にがんばりたいことがあります。

6年生の前期でできたことは全教科に楽しく取り組むことやできる範囲が増えたことです。ぼくは7月にアメリカから2年半ぶりに帰国しました。日本に帰ってきて、また南台小学校の友達に会えることはものすごい楽しみでしたが、勉強には不安がありました。でも、授業が始まったらとても楽しかったその不安が無くなっていました。特に社会科の歴史上の人物を調べ、何をしたのかを覚えることができたのがうれしかったです。

後期にもっとできるようになりたいことは漢字です。漢字は不得意としているので小学校で習う漢字を卒業までに書けるようにしたいです。

最後にぼくはクラブ活動でクラブ長になりました。ぼくの入っている球技・ボールゲームクラブの目標は「全員が楽しく安全に協力し、全力で活動するクラブ」です。後期は本格的に活動が始まるので後期にこれを実現させたいです。

We have different personalities ,we all thinking differently but respecting each other and together let's make a great effort and memories until the end of final semester for this building, "Minamidai Elementary School"

私たちは、皆ちがった個性や考え方をもちます。が、お互いを思いやり、皆一緒になってこの南台小学校校舎の最後の学期に大切な思い出と成果(努力)を残しましょう。

(6年2組 田中 駿)

南台 校長室だより

始業式・終業式の言葉2

昨日紹介した6年生の言葉に引き続いて、3年生の後期始業式の言葉です。立派です。

3年生後期始業式の言葉

後期からがんばりたいこと

前期では漢字が得意でいろいろな漢字が書けてうれしかったです。でも算数と道徳が苦手でした。道徳は登場人物の気持ちを考えることがむずかしくて苦手、算数はくり上がりのある筆算が苦手でした。後期からは苦手なものが得意になれるように、算数はくり上がりの計算をたくさん練習します。道徳は登場人物の気持ちが分かるように一生けんめい考えます。中野区のことをもっと知りたいので、社会の授業もがんばりたいです。そして、友達と仲良くしたいです。(3年2組児童)

私は前期の勉強で苦手な科目がありました。特に算数のわり算の勉強が苦手、わり算をかけ算の式にもどすことがむずかしかったです。後期からはもっとたくさんのかけ算やわり算の問題をとくことを得意になりたいと思います。

後期で楽しみなことの一つに明日行く社会科見学があります。3年生から新しく始まった社会科で初めて学校の外に出て学習します。中野区のおう家さんがどんなものを育てているのかをインタビューしようと思います。他にもなぜのおう家になろうと思ったのかをインタビューしようと思っています。(3年2組児童)

「地域ふれあい学習」～南台の連携教育

南中野清掃事務所の見学(4年)・ロッテ協働授業(5年)

学区域の施設や企業のご厚意で、「地域ふれあい学習」を展開しています。コロナ禍ですが、学級担任による知恵と工夫のある学習展開です。前期末に4年生と5年生で象徴的な「地域ふれあい学習」がありました。

4年生は南中野清掃事務所で小型清掃車から大型清掃車へのゴミの移し替えを見学させていただきました。たくさんの清掃車を身近で見られるような体験はなかなかありません。ゴミを潰す仕組みや高圧洗浄の実演もありました。

5年生は、南台の(株)ロッテ事業所と連携し、環境学習について「コアラ」を取り上げて学習しました。ロッテの商品開発部門の専門家の方と学級担任の先生によるTT(ティームティーチング)です。最後には感想や質問が止まらなくなるほどでした。

どちらも連携先との打ち合わせを大切に学習のねらいに迫るものであり、「南台の連携教育」の一環です。ご協力頂いた連携先の施設、企業の皆様に感謝いたします。

<4年生：清掃事務所見学>

<5年生：ロッテ協働授業>



本日の土曜授業で、5年生が社会科水産業の学習で愛媛県愛南町、給食食材納入業者との連携協力で「ぎょしょく授業」を実施し、育てる漁業を学習しました。
週明け月曜日には愛媛県愛南町産の鯛を使った鯛飯が本校の給食に登場します。

愛媛県をはじめとする四国地方の周りでは、昔から漁業が盛んで、たくさんの「鯛」が水揚げされていました。

そこで、土鍋で丸ごとの鯛をごはんに炊き込む「鯛めし」が作られるようになりました。魚に恵まれた、土地ならではの料理ですね。

① 鯛の頭と骨を焼く



給食の鯛めしができるまで

② 焼いた頭と骨からだしをとる。



③ だしでごはんを炊く

④ 鯛の身を焼く → ⑤ 身をごはんに乗せる。

★おもな食材の産地★

こめ 秋田 しまつな 東京都 八王子市

さつまいも 千葉 ましたけ新潟 だいこん千葉

にんじん 北海道 とりにく 茨城 鯛 愛媛

南台 校長室だより

速報：1年生活科見学

3年生に続く校外学習は1年生の生活科見学です。検討を重ね、地域を活用した学習を進めることにしました。見学地は、①広町みらい公園 と ②旧新山小学校 です。夏から秋へと変わる自然の様子を観察、公共施設の利用、道路の安全な歩き方、きまりやマナーの大切さ…等が学習内容です。並んで外を歩いたり、集合整列したり、施設を利用したりする学習を通して、めあて「きまりやマナーをまもって、あきをさがしにいこう！」に迫っていきます。

通常通りの登校で、健康観察後、北門側に集合です。出発の会をして、広町みらい公園を目指します。はじめに学級毎に記念撮影をして遊びます。近所の保育園の皆さんが遊びに来ていて、保育園時代にお世話になった先生に会うことができた子もいました。たっぷり遊び、秋さがしで見つけたものも公園の中でみんなで発表し合い、新しい発見もしていました。公園の担当の方も見守ってくださいました。



「お腹がすいちゃった。」という声も聞こえる中、もう一度、南台小の正門に戻り、ささのは公園の前を歩いて旧新山小に向かいます。現地では主事さんが解錠して迎えてくれました。予定を早め、お弁当タイムとなりました。上手にグループをつくり、間を開けてシートをしきます。石けんで手を洗って「いただきます！」です。風で飛んでしまうビニールを拾ったり、「おーい」と手を振りながらの楽しい一時でした。



お昼の後、旧新山小校舎を探検、2年生の教室予定の場所や図書室等の特別教室を見ました。児童机のない教室に驚いていました。途中、体育館で区子ども教育施策課の担当の方に、4月からしっかり使えるように整備していることやキッズプラザも再開すること等を教わり、質問にも答えてもらいました。実際に携わっている方のお話は子供たちの興味関心を高め、内容には説得力がありました。感謝申し上げます。学校まで戻った後、教室で見学のまとめです。たくさん歩いて疲れたと思います。ゆっくり休めるといいです。

※お子様と生活科見学の話をするきっかけに使ってください。昨日、HP不具合で掲載ができませんでした。



南台 校長室だより

令和2年度

No. 55

最後の校庭での運動会で思い出を残そう

第4回運動会まで2日となりました。校庭では各学年の練習が続いています。コロナ禍で例年通りの運動会は難しいところですが、「どのようなことができるか」、「どうしたらできるか」を考え、ここまで進めてきました。

今年は特別時間割を組まずに、各学年学級の体育の時間で練習をしています。そのため、他の授業も通常通り進んでいます。運動会前後に生活科見学や社会科見学が組まれているのもそのためです。全校朝会での代表委員会のスローガン「最後の校庭での運動会で思い出を残そう」と応援団長のメッセージはVTR化され、中央昇降口で繰り返し映像が流れるようになっていきます。紅白応援団長からは「コロナの中だからこそ、最後の校庭での特別な運動会にしたい。」「いつもとちがう運動会だけれども、いつもより楽しいと思える運動会にしたい。」との思いが語られました。そして、2人から手拍子を中心にした応援の仕方をお願いがありました。ご来校する機会があればご覧になってください。

23日(金)は、児童のみで開会式と「かけっこ」、「短距離走」を実施します。(天候が心配ですが…)。上学年特に6年生の走りを下学年が見て学ぶことをしていきたいです。そして、24日の保護者参観日には、各学年30分で1年生の代表の言葉、「かけっこ」、「短距離走」と団体競技、そして閉会式を行います。団体競技は4～6年生が全員リレーです。1～3年生は各々の学習内容や発達を考えて、玉入れ、大玉ころがし、障害物リレーとなっています。この日児童は自分の学年のひとつ上の学年の競技の参観をします。6年生は1年生を支えるように1年生の児童代表の言葉を聞いた後、係活動に取り組みます。他学年は教室でモニターでの参観をします。閉会式は5、6年生が校庭、1～4年生は各教室で参加します。1日目と2日目で「かけっこ」、「短距離走」は2回走るようになります。当然ですが、1日目も2日目も真剣に走り、得点に反映されます。

学年入れ替え、参観カード等のお願い

今回の運動会に当たり、10月6日に配布しました「第4回運動会のご案内」をお読み頂きご協力をお願いします。例年とちがうことでは、学年の入れ替え制や参観カードの提出等があります。ここ数年、立ち見での保護者の方の観覧は定着してきています。また、ゴール付近の譲り合いも行われています。児童個々のレース、コースをお伝えしていますので、声をかけ合って譲り合っていただければと思います。



3年生：障害物リレーの練習

P T A運営委員の方を中心に打ち合わせを重ね、当日は様々な面でご協力いただきます。移動や観覧の際の**思いやり&譲り合いを大切にしましょう！**

前号でもお伝えしましたが、この状況下でも何とか運動会ができることに喜びをもって、「感謝」でつなぐ運動会になったらと考えています。

入学式の写真撮影を予定しています～11月14日(土)

1年生の保護者会でお話しました入学式の写真撮影ですが、11月14日(土)の土曜授業の日に予定しています。時程については検討中です。1年生の保護者の方に学習の様子も見てもらいたいと思っています。詳しい計画が決まりましたら、改めてご連絡いたしますので、11月14日の予定を空けていただくことをお願いします。

南台 校長室だより

第4回運動会 今日も本番、明日も本番！

運動会初日が終わりました。1, 2年生のかけっこは実施しましたが、残念ながら雨天のため、その後は中止としました。かけっこの開会式では紅白応援団長による選手宣誓はさわやかに、そして1年生の児童代表の言葉はしっかりと行うことができました。

開会式の様子はVTRに収めています。どこかでお見せできたらと思っています。初日の得点は<赤組：247 白組：206>です。明日の2日目はこの得点からスタートします。今日も本番、明日も本番です。

最後の運動会となる6年生は思いや願いを込めて、運動会の見どころを書いています。紅白応援団長は様々な場面で思いや願いを話しています。紹介します。

6年生の思い・願い 運動会の見どころ

- 1位になれなくても一生懸命最後まで走りきります！ 小学校最後、この校庭で最後、いつもとちがう形で工夫してがんばります。この状況での運動会、今年が最初で最後になってほしいと思う。いい運動会になるよう努力します！
- 全校をがんばって応援する姿や自分に勝つために全力で走る姿を見てください。バトンパスやみんなで協力して全力でやったり、もり上がったりしているところを見てほしい。最後の運動会を全力でもり上げたいと思っています！！
- 係活動の「応援団」で他学年を元気にさせる応援をしていきたいです。見ている人を楽しませるのががんばりどころだと思います。
- 応援団：小学校最後の運動会で応援団も最後だけれど、最後だからこそ全力で応援します！ 全員リレー：私はチーム全員で全力を出し、チームワークを生かして、本気で取り組みます。そして練習もたくさんしたので応援してください！
- いつもの応援はできないけれど、全校みんなが本気を出せるように応援します！
- リレーが見どころです。なぜなら、6年最後の運動会で勝ち星をあげるように燃えているからです。



応援団長：木曜係活動での言葉

- 今年はこのような状況の運動会だけれども、応援団をやりたいといって集まったみんなの志は変わらない。やるべきことをやっていきましょう。
- 明日は雨かもしれない、でも土曜日は絶対大丈夫、わたしたちにとっても、この校庭にとっても最後の運動会をみんなががんばっていつもより楽しい運動会にしましょう。

初日は、その後3時間目から通常授業となりました。各学級とも落ち着いて学習しました。わたしは6年生全体に多目的室で話をする機会をいただきました。お礼とお願い、励ましのつもりで話をさせてもらいました。思いや願いが伝わってくるような立派な態度の6年生、明日の運動会でもしっかりと学校全体の下支えをしながら、小学校最後の運動会、この校庭最後の運動会を全力で競技して欲しいと願っています。

明日の天気予報は晴れですが、今日も含めてここ数日、天気予報は刻々と変わってきました。けれども、子供たちのがんばりを応援するような天気になって欲しいと思っています。保護者の皆様の観覧も子供たちの後押しになります。当該学年の入れ替え制ではありますが、どの学年の児童もがんばると思います。どうぞよろしくお願いします。

※お配りした第4回運動会のご案内やプログラムはHPにも掲載していますのでご活用ください。

南台 校長室だより

速報：4年生社会科見学～浅草

※お子様と社会科見学の話をする話題作りに使っていただければと思いますHPに速報で掲載しました。

運動会明けの週ですが、通常の学習もしっかり進め、4年生は借り上げバスで都内に社会科見学に出かけました。見学地は、①浅草 浅草寺 と ②パナソニックセンター東京（リスーピア・RiSuPia）です。これに加えて ③車窓からの東京都の様子 も大切な学習です。浅草は現地ガイドさんによる少人数でのグループ行動、パナソニックは80人までの人数制限の中で、フロアごとに人数を絞っての行動です。

4年生になって初めての学年での校外学習です。集合の8：15には、トイレや探検ボードの準備を済ませて、見事に時間通り集合点呼ができました。2台のバスで出発です。途中、バス車窓から新宿、外苑、皇居、東京駅等を眺め、浅草に向かいます。気が付くと、右手にスカイツリー、正面に雷門が見えて浅草です。バスを下車し、二天門を通過して浅草寺に到着、10人のボランティアガイドさんたちが迎えてくださいました。



ガイドさんの案内で人がまばらで空いている浅草をグループで回ります。五重の塔の目の前で塔を見上げながら説明を聞きます。仲見世通りをまっすぐ抜け、雷門の下で説明を聞きます。約2時間のとても贅沢な見学でした。「とてもよく学習していましたよ。」「にこやかでいい子たちですね。」とガイドさんから伺いました。

浅草寺を後にして、昼食場所の隅田公園に向かってしばらく歩くと、晴れ渡った空に見事な東京スカイツリーが見えてきました。隅田公園では、スカイツリーに加え、大きな隅田川、大きな橋（吾妻橋・言問橋）を眺めながらのとても気分がいいお昼ごはんになりました。片付けでは、シートをしまうのに苦労している人を手伝ったり、トイレに行って留守の子の荷物を集合場所まで持っていく子がいました。とてもやさしい4年生の姿だと思います。置いておいたわたしの荷物も忘れ物と思ったのか、心配してくれました。そんなことを話しているうちに、にっこり笑って集合しました。



再度、バスに乗り込み、リスーピアに向かう途中、東京湾お台場を眺めながらレインボブリッジを渡りました。これも東京都のそして特色ある土地のひとつです。リスーピアでは理数教育に加え、SDGs、オリパラ等の体験コーナーで楽しく頭と体を働かせて学習しました。帰路も車窓からは、国立競技場、東京体育館、都庁等を眺めながら帰校しました。学年での初めての校外学習、貴重な体験ができました。時間が守れたこともよいことです。学習の振り返りとまとめに入ります。新聞の形式のまとめの完成が楽しみです。



南台 校長室だより

運動会御礼～「感謝」でつなぐ運動会

10月23、24日の運動会から一週間が過ぎました。23日の児童のみの初日には開会式は実施でき、1年生の児童代表の言葉や応援団長、そして互いの姿を子供たちがしっかりと目に焼き付けることができたと思います。あいにくの雨で3年生以上の短距離走はできませんでしたが、校庭での開会式の実施は大変うれしいことでした。

24日の2日目は、1年生の児童代表の言葉からスタートし、各学年の競技を1年生から順に観覧いただきました。児童は自分たちの競技後、ひとつ上の学年の応援をして教室で過ごします。1年生は6年生が応援です。そして6年生は係活動で半日仕事をして運動会全体を支えました。5年生は6年生の係活動を見て来年の運動会に備えるというめあてをもって運動会に臨みました。各学年の力走は観覧の通りです。また、団体競技は学年の発達段階に沿ったもの、体育学習のなわとびを生かしたもの、そして学校だよりでも触れたように4年生以上は全員リレーでした。5、6年生が校庭にいる閉会式、6年生二人の児童代表の言葉も今年の運動会ならではのものだと感じました。校歌は教室の1～4年生は校庭に向かって歌いました。このことについて、校歌作詞者の前田たかひろ先生からは運動会前日にメッセージをいただきました。気にかけてくださることに感謝です。

前田たかひろ先生からのメッセージ

いつもお知らせありがとうございます。コロナ禍の中での学校教育、本当に大変かとお察し致します。開催する側は様々な考え方のご家族もいらっしゃるかと思いますので、さぞやお氣を遣われることかと思ひます。

いつも校歌を歌って頂いているお話をお聞かせ頂き嬉しい限りです。今回も運動会の閉会式での歌唱、素晴らしいアイデアですね。もちろん通常通り校庭に全校生徒が並んでの大合唱が理想なのでしょうけれども教室の窓から顔を出した子供たちが校庭に向かって、空に向かって大きな声で歌う。その光景を思い浮かべるとなんだかワクワクして来ます。むしろなんだか壮大な光景になるのではないかとさえ思われます。

天気予報では今週末天気は大丈夫そうですね。子供たちの明るい笑顔と歌声に似合うような快晴になる事を祈っております。校長先生を始め教職員の皆さんのご尽力、想像するだけでも本当に大変な事かと思ひます。

どうぞ皆様もお身体にお氣をつけ頂き、子供たちの為に頑張ってください！またお会い出来る日を楽しみにしております！

前田 たかひろ

運動会の日、たくさんの保護者の方々が、各学年の担任に労いの言葉をかけてくださったと聞いています。ご感想もありがとうございます。また、今月末に運動会を控えている近隣小学校の校長先生が参考のためにと来校し、「先生方の動きがきびきびしてとても気持ちよかったです。また、子供たちの競技の姿からその熱意も伝わってきました。たくさんの制限の中、児童の活躍の場を確保した様々に工夫された運動会、計画立案からよく考えられたと思います。とても参考になりました。」と感想をいただきました。

運動会終了後、学級指導のない教職員で最後の片付けをしていると帰りがけの子供たちが口々に「ありがとうございます。運動会ができてよかったです。」とお礼の言葉をかけている姿がたくさんありました。今回の運動会は新たな行事の形を考える機会にもなりました。保護者の方々からの感想には、従来の形がよいという考えと、今回のような入れ替えの方がしっかり見られてよいという考えとの両方があります。そして、最も多かった感想は、「運動会ができてよかった」ということでした。

コロナ禍の運動会、この校庭最後の運動会、感謝でつなぐ運動会です。たくさんの方々のお陰で、運動会ができたことを幸せに思っています。ありがとうございました。

子供たちが運動会で身に付けた力を生かすのはこれからです。

南台 校長室だより

速報：5年生社会科見学～青梅

※昨日は帰校が遅れ、保護者の皆様にはお迎え等の対応をありがとうございました。1日遅れの速報です。

5年生は社会科見学の目的地に青梅を選びました。ここ数年、製鉄、自動車、製菓等の工場見学を中心に行程を組んでいましたが、コロナ禍で見学できる工場が少なく、今回は社会科「わたしたちの生活と林業」の学習に関係する青梅の林業家の方を訪ね、実際の間伐林を見せていただくことにしました。本校は初めて行く場所で、現地も青梅市以外の小学生70名の受け入れは初めてで、実地踏査に加え、きめ細やかに打ち合わせを重ねてきました。この見学地は昨年度までの学校評議員の谷村春樹さんの紹介で、受け入れの中心は「身近な森林の活用を考える会」の中島大輔さんです、当日は、更にはたくさんの方々に案内いただくことになりました。



<8月の実地踏査の様子>

今年の5年生のいくつかの学習のスタイルは、単元の学習をしっかりと終えてから、見学やゲストをお招きしての体験的な学習を組む流れで進めています。学習中に出かけることが効果的な場合もありますが、今年度は新たな工夫改善で単元を組み直すことが多く、それに対応するには、この形で通常の学習をしっかりと進むことを大切にしています。今回は「森林にはどのような働きがあり、わたしたちの生活にどう関わりがあるのだろうか」というような学習問題を立てての単元の学習のまとめをほぼ終えています。今週は現地の方々の紹介も含めた社会科見学そのものの事前指導を行い当日を迎えました。



8：05の登校時刻に全員が揃い、時間前に「行ってきますの会」が始まりました。担任の先生からは「出かけることも、学習することもみんなとても楽しみにしています。」と聞いていましたが、そのことが現れた朝になりました。立って並ぶ姿、あいさつ、話の聴き方について「素晴らしい人がたくさんいますね。」「更にみんなできるように意識を高めていきましょう。」とお話があり、早目の出発となりました。バスの到着を迎えるような形になり、スムーズに出発できました。

これまでの学年と同じように学年全体で校外学習に出かけるのは今年度初めてのことです。バス2台で一路青梅目指し、晴れ渡った青空の下、富士山も見ながら、環七通り、甲州街道、中央高速、圏央道を進みます。約2時間の長い行程なので、バスの中では、音楽を聴いたり、クイズをして過ごします。富士山、味の素スタジアム、東京競馬場やビール工場も眺めながら進みます。青梅インターを降り、青梅市成木の「成木の森活動拠点」に到着すると10名の「身近な森林の活用を考える会」の皆さんが迎えてくださいました。



お世話になる皆さんとの顔合わせの後、すぐに成木の森に向かいます。気持ちのいい空気を吸いながら、里山にある集落を見下ろし、周囲の自然を感じながら、森の中に足を踏み入れます。数人のまとまりごとに森林の説明（水源林としての役割、森の手入れについて、動物とのかかわり…等）を教えてもらいながら急勾配を上ります。間伐をして手入れが行き届いているある森とそうでない森の境目のところでは明らかに日光の当たり方や下草の育ち方、木の生育状況が違います。教科書の写真以上にはっきりと分かるのは実際に見ていることによさです。木に触れ、自然に触れる中、間伐デモンストラーションの場所に到着しました。まず、実際の間伐作業を見せていただきました。そして、実際の間伐体験です。代表児童10人がロープを曳いて各学級で木の伐採をしました。滑車を使って倒す方向を調整したり、安全に作業するための知恵と工夫も学びました。木が倒れる際には、拍手も湧き上がりました。この伐採した木（ヒノキ）を丸太切り体験に使います。

「お腹すいたなあ。」という声があちこちから聞こえる中、「成木の森活動拠点」に戻り、昼食になりました。久しぶりにみんなで食べるお弁当はとても楽しそうでした。

午後の時間は、中島さんによる「森や林業について」のお話です。クイズを交えた興味深い内容で進みます。実際に林業に携わってる方のお話はやはり重みがありました。5年生のここまでの総合の環境、社会科の林業の学習に合致する内容です。最後には、「今ある家具がどこからやって来たか興味をもってください。もしかすると、身近な森からやってきたのかもしれませんが。そこには、どんな生活があって、どんな人たちがかわって、生きているのか、関心を向けてもらえると、我々はうれしいです。」というメッセージをいただきました。



この間も、他の方々は丸太切り体験の準備を進めてくださっています。8カ所でプロの方についていただいて、弟子入りのように実際にのこぎりを使って、自分たちが伐採したヒノキの丸太切りをします。全員が切ったものを一枚ずつ手にして、木の匂いも感じました。贅沢な体験です。「校長先生、全校朝会で紹介したらどうですか？」という提案があり、そこに5年生に出演してもらおうような話にもなりました。切ったもので何を作るかを話し合うと、コースター、ペン立て、だるま落とし、コマ、お風呂に入れる…等が上がり、中島さんからコメントももらいました。自分で切ったヒノキがどうなるか楽しみです。更に、質問タイムです。「1日に何本ぐらい間伐するのですか?」、「働いている時間は1日何時間ぐらいですか?」、「森林が減っていることをどう思っていますか?」等が挙がり、丁寧に答えていただきました。これまでの学習が生きているとも感じました。



帰りには、おみやげにとプロの方が切ったヒノキの輪切りを80枚、学校に40cmほどの木材をいただきました。学校にいただいたものはコーナーを設けて全校に紹介しようと思います。5年生に出演してもらおう全校朝会がとても楽しみです。

今回の社会科見学では、たくさんのかかわりがありました。森を代表とする自然とのかかわり…、林業という仕事とのかかわり…、そして現地の人とのかかわり…です。「どうして、わたしたちを案内してくれたのだろう。なんかうれしいなあ。」とつぶやいている子もいました。様々な方のおかげで、貴重な「本物の体験」ができたことに感謝しつつ、学習のまとめも大変楽しみです。

南台 校長室だより

南台ハート週間（10月）から

～道徳授業地区公開講座（南台ハートの日）に代えて

本校では、道徳教育の重点的な推進のために、毎月の重点内容を決め、南台ハート週間を設けています。（昨年度は、「南台ハートの日」でしたが、コロナ禍で同じ日に授業を集中させることは難しく「週間」としてしています。）＜裏面：10月の指導計画＞

10月の重点内容は「C：よりよい学校生活、集団生活の充実」でした。これは学校生活を集団の視点からよりよくしようとするものです。10月最終週に、全学級でこの内容を学習し、どの学級でも学校や学級のことを一人一人が考えました。毎月の学年だよりで教材名までお知らせしていますが、若干の差し替えもあり、下記の教材で実施しました。

- 1年：みみちゃんの学校
- 2年：三組だいすき
- 3年：しょうたの手紙・けやきの校しょう
- 4年：秋空にひびくファンファーレ
- 5年：かれてしまったヒマワリ
- 6年：せんぱいの心をうけついで

「南台ハート週間」で道徳の授業を取り上げていますが、この授業と同様に日常の学習、生活、そして学校行事等の中にも「よりよい学校生活、集団生活の充実」に関する内容は存在します。これが全教育活動における道徳教育です。どのようなことがあったか振り返ると…何を置いても第4回運動会です。6年生の係活動はもちろんのこと、学年競技の話し合い、代表の言葉他、学校行事に向かう中でこのことは大きくかかわってきます。

最近ではTAキャンペーンに始まり、現在の4年生のあいさつ運動、5年生の全校への廊下歩行の呼びかけも関係します。3年生は、総合的な学習の時間「未来につなげ南台小」で学校そのもの、仮校舎、新校舎を取り上げた学習をしています。

全校朝会では、あいさつの後に毎週6年生に個々の考えを話してもらっています。Google Meetでオンラインで聞いている下学年が考えるきっかけになっているようです。学級での係当番活動、学年の仕事、委員会活動、クラブ活動、たてわり班活動も大きく関係します。



＜授業で校歌を歌う1年生＞

＜この期間の道徳の学習から＞（今回は1, 3, 5年生）

うれしいな。ふわふわするな。はじめてうたったのにたのしいな。みんなのおかげでがんばれた。みんなとうたえてたのしいな。これからがんばろう。がっこうってこんなにたのしいんだ。ともだちいっぱいつくろう。がっこうってこんなにふわふわなんだ。（1年生）

たのしいな。がっこうはいろいろなことをするんだな。ほめられてうれしい。がんばったねっていわれてうれしい。せんせいだいすき。これからともだちいっぱい作りたいな。（1年生）

新山小と多田小が合体していることが今日はじめて分かったのでこれから南台小を大切に使い分けたいと思います。南台小が工事しちゃうので、南台小をホントに大切にしたいです。（3年生）

私は委員会でビデオをとる時があるんだけど、ビデオがいやだなと思う時がありました。全校が楽しめるようなことを考えてそれを行う委員会なのに、自分のことばかり考えていて高学年として恥ずかしいなと思ったことがあったので、最近、全校に目を向けて取り組んでいます。（5年生）

今まで私は委員会をやる時は学校みんなのためにがんばってきました。でも、今日の学習でみんなも大切だけれど、自分（の心の声）のためにもがんばっていかなければならないと思いました。（5年生）

毎月の重点に加えて、年間を通した**本校の道徳教育の最重点は「B：感謝」**です。学校の生活、学習の様々な場面で、朝のおはようから帰りのさようならまで道徳教育のチャンスは数限りなくあります。学校以外、地域やご家庭での児童とのかかわりの中にももちろんたくさんあります。全ての教育活動を通して、児童自身が心を育てていくことが道徳教育だと考えています。そのためにも学校、家庭、地域の連携とかかわりは重要です。コロナ禍で例年通りの道徳授業地区公開講座の実施は今は難しいため、紙面で紹介しました。

南台 校長室だより

「学習発表会」はじまりました！

中野区教育委員会のコロナ禍での学校公開及び学校行事の方針は、全児童が一カ所に集まり、地域保護者の方々を招いての行事は避けるということがありました。

本校はの中で、運動会は学年入れ替え制で実施することができました。たくさんの方々のご理解とご協力に感謝しています。更に子供たちの活躍の機会、発表の機会を設けようと学年で分散した形での学習発表を計画してきました。分散型での学習発表会です。

28日、5年生が4年生に向けて音楽のリコーダー演奏、合唱、合奏の発表を行いました。「学習発表会」のトップバッターです。4年生からの感想メッセージをもらい、5年生はそれを聞いて、「とてもうれしかった。」「はげみになった。」と語っていました。せっかくの機会、更に力を出し切って欲しい、明日はひとつ突き抜けて欲しいという願いも伝えました。4年生以外の学年はVTRで参観することになっています。

その次の日、土曜授業の28日は5年生の保護者に見ていただく機会です。昨日本番、今日本番という設定です。あたたかい日に恵まれ、体育館にご来場いただき、密を避けながら学習発表会を行うことができました。5年生のひとつ突き抜けた声や表情、態度にはあと4ヶ月で最高学年6年生になる頼もしさも感じました。保護者の方からも子供たちに直接その場でメッセージを伝えていただき感謝しています。ありがとうございました。

その後、保護者の皆様には、青梅の社会科見学VTRを観ていただきました。このVTRは現地の方のご厚意によるものです。自然いっぱいの青梅で、学習のめあてをもって、体験的な学習をしてきた様子を見ていただくことができたかと思えます。



今後の土曜授業や学校公開、学習発表会

11月14日(土)に1年生の入学式に代わる記念撮影を行い、人数を絞ってグループに分けての授業参観を行いました。笑顔で撮影ができてよかったです。11月から12月の土曜授業日には学習発表会があり、様々な対応も考慮し、この学習発表会の参観を最優先していくことをお伝えしていました。その中で感染症流行拡大を受け、区教育委員会からは土曜授業の学校公開は実施を見送る通知がありました。学校行事は学年を絞って参観していただくという対応のままです。本校ではこれまでの連絡内容のまま進めていきます。



<各学年の学習発表会の予定>

12月12日(土) 1年、6年学習発表会 12月19日(土) 3年、4年学習発表会

2年生の学習発表会は2月20日(土)に予定しています。そこで、2年生は12月19日(土)に校庭での各学級の体育の学習を見ていただく機会を設けることにしました。(雨天等で校庭での体育ができない場合は取りやめになりますがご理解をお願いします。)

詳しい内容や時間等は各々の学年の学年だよりをご覧ください。

南台 校長室だより

南台の連携教育～保幼小中連携を中心に

本校は連携教育を特色の一つに掲げていますが、現在の状況の中でもできることを進めています。「南台の連携教育」は保幼小中連携を中心に、地域、保護者の皆様、関係諸機関等との連携、地域の財産（人財や施設）の活用、地域を知ることの学習を進めています。

保幼小連携では、園長先生方のアイデアにより本校の玄関に「ファミリー幼稚園保育園連携コーナー」ができました。直接的な交流はなかなか難しいのですが、間接的にこのコーナーに各保育園の作品を展示をすることで保育園の6園交流会が実現しています。一番上の写真は、なかみなみコスモ保育園の10月の展示「ハロウィン」です。この作品を各園児が時々見に来ます。その際に状況を見ながらですが、1年生の学習の様子をほんの少し見学する体験もできました。上から2番目の写真は弥生保育園の10月の見学の様子です。1年生も緊張しつつはりきって学習していました。

今後、施設設備を活用した年長児の小学校体験の無理のない形での実施を計画します。小中連携では、南中野中での小6のオープンキャンパスでは授業体験でお世話になりました。実施できて本当によかったです。更に小学校での小中合同あいさつ強化週間は直接交流、中学生による図書紹介が届き、図書室前の廊下に掲示しています。今月16日には児童の様子を見てもらいながら、南中野中校区の教職員の打ち合わせ会を実施します。また、みなみの小とは必要な部分の歩調を揃えながら、幼稚園保育園との連携を深め、関係の幼稚園保育園を「南中野ファミリー幼稚園保育園」と呼ばせていただいています。南中野地域の保幼小連携と小中連携をつなげ、現在の状況下ですが地域を舞台に保幼小中連携教育を進めます。



地域展示に発展～学校もりあげマスコット

学校に展示していた学校もりあげマスコットは地域町会長賞として、各町会長に1点選んで頂き、合計11作品になりました。学校を飛び出し、南中野区民活動センターに展示しています。

学校だけの展示ではたくさんの方にご覧頂くことができないので区民活動センターの方にご相談してご用意いただきました。感謝申し上げます。人権メッセージ、人権の花運動の掲示が10日まで、中野駅ガード下夢ギャラリーに区の代表として展示中ですが、その期間の後、再度区民活動センターにも展示します。



その他、連携教育あれこれ

「南台の連携教育」の保幼小中連携教育を中心にお伝えしました。この他にも、ボランティア委員会の「医療従事者の方にエールを！」での地域連携、安心安全の連携にかかわる取り組み、コロナ禍での「地域ふれあい学習」、図書・図工ボランティア、異学年交流…等、様々な場面でできることを進めています。改めて少しずつお伝えしていきます。

南台 校長室だより

令和2年度

No. 63

人権週間をきっかけに

「誰か」のことじゃない。感染症にかかったとき、僕を不安や苦しみから救ってくれたのはまわりの人のあたたかさでした。互いを恐れるのではなく、支え合おう。
いまこそ、大切なこと。 人権週間 <広報 東京都より>

家族が感染者だから、何となく 病院関係の人だから、何となく あの地域の人だから、何となく ネットで見たから、何となく 「何となく差別」していませんか？
気づいてください。傷ついている人がいることに。
<東京都人権啓発センターポスターより>

STOP! コロナ差別 戦うべき本当の相手は人でなくウィルスです
<東京都総務局人権部HPより>

昭和23年12月10日、国連総会での「世界人権宣言」の採択を記念し、12月10日が「人権デー」となりました。日本では毎年12月4日～10日が「人権週間」です。今年には新型コロナウイルス感染症にかかわる差別偏見の問題も取り上げられています。

本校は本年度、区の協力校として人権メッセージを6年生、人権の花運動を3年生を中心に取り組みました。メッセージや掲示物の作成に当たり、「かかわり合い」、「多様性」、「思いやりの心」、「共に支える」、「存在自体がよさ」というキーワードが子供たちから出てきました。この作品は区の代表として中野駅ガード下夢ギャラリーに「人権週間」の期間、展示されています。自分の存在や尊厳が守られ、自由に幸せを追い求める権利が「人権」です。この「人権」を自他共に守り大切にすることを考える期間です。

学校では同時に「いじめ」にかかわること、暴力や暴言にかかわること等も取り上げ、学習する機会も設けていきます。ご家庭でも話題にしていただければありがたいです。

ボランティア委員会への地域の後押し

ボランティア委員会で取り組んだ「医療従事者の方にエールを！」と題した医療に従事している方へのメッセージと募金ですが、まず、ご家庭での協力、後押しに感謝いたします。

この度、中野区医師会、中野保健所、南部すこやか福祉センターにメッセージをお渡しすることができました。医師会からは担当の方に来校いただき、児童から感謝の言葉も伝えることができました。また、南部すこやか福祉センター所長からご連絡いただき、「職員がとても喜んでいるので、子供たちにそのことを伝えてください。」とお話いただきました。



募金は、25375円程集まり、中野区赤十字奉仕団南中野分団を通じて日本赤十字社にお渡しすることにしました。そこで、南中野分団長の大川さんにご来校いただき、これも児童からのメッセージを添えて直接渡すことができました。その後、大川さんがすぐに中野区役所の担当に持ち込んでくださり、区役所からもお礼の連絡が来ました。顔と名前の分かる関係での地域、関係諸機関の後押しを大変ありがたく思います。

※本校が中野警察署の推薦により交通安全優良学童に選ばれ、警視庁から感謝状をいただくことになりました。東京都で6校のみです。7日に地域の方と一緒に授与式を行います。



南台 校長室だより

令和2年度

No. 66

中野区立南台小学校

南台ハート週間（11月・12月）

～道徳授業地区公開講座（南台ハートの日）に代えて

先月から、道徳教育の重点的な推進のための「南台ハート週間」についてお伝えしています。コロナ禍で例年通りの道徳授業地区公開講座の実施が難しいため、紙面での紹介です。全ての教育活動を通して、児童自身が心を育てていくことが道徳教育だと考えています。もちろん、学校だけでなく、家庭、地域でのかかわりは極めて重要です。

11月の重点「D：感動、畏敬の念」

この内容は、東京都の先生が道徳授業の際に難しさを感じている内容であるという調査結果があります。美しいもの、きれいなものに感動したり、人の心の美しさに心打たれたりする体験が少なくなっている、子供たち個々の体験に偏りが見られる状況の中で、わたしたちがより意識することが大切と思っています。11月は下記の教材で実施しました。

- 1年：にじが出た
- 2年：ガラスの中のお月さま
- 3年：百羽のツル
- 4年：花さき山
- 5年：一本松は語った
- 6年：夜空

この「感動、畏敬の念」を職員室でも話題にすると…、こんな場面が上がりました。

- 美術館で一枚の絵に引き込まれて、ずっと見ている。
- 思いやりに触れるようなお話を聞いて、心が揺さぶられる。
- 東日本大震災の際の「最後の一本松」を思い出した。
- 大相撲の横綱の引退会見をニュースで見て、ご苦労様と言いたくなった。
- 雪の結晶を模様を見て、きれいだなあと思った。 ○初日の出を見ると心が落ち着く。
- 友達との別れに涙が止まらなくなってしまった。 ○満点の星空に見とれる。

12月の重点「C：公正公平、社会正義」

12月は人権週間もありました。本校は中野区の協力校で、3年生が人権の花運動、6年生が人権メッセージに取り組みました。中野駅ガード下の展示が学校の戻ってきたので、早速玄関で見られるようにしました。これからも随時取り上げていきます。今月は下記の教材で実施します。（研究授業等で時期を動かしている学級もあります。）

- 1年：ずるいな、ずるいな
- 2年：大ききなフルーツポンチ
- 3年：みさきさんのえがお
- 4年：となりの席
- 5年：転校生がやってきた
- 6年：長野さんとぼく

日本赤十字社がコロナ禍の「3つの感染症」について触れています。（HPで見ることできます）「①病気」、「②不安」、「③差別」の3つが負のスパイラルになるということです。「①病気」からつながる「②不安」そして、そこから生まれてくる「③差別」を防ぐには…、日本赤十字社では「確かな情報を知る」、「差別的な発言に同調しない」が上げられています。正しく理解できずにいる中から出てくる偏見から差別が生まれるということと符合します。

21日に式町水晶（しきまちみずき）さんの3年連続の訪問演奏がありました。2学年ずつ、感動的な演奏を聞く中、差別や偏見のお話もありました。このコンサートも子供たちの心の成長を願ってのことです。11、12月のハート週間の内容にも関連しています。

1月のハート週間は「C：伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」です。年末年始の行事や食事の中には関係することがたくさんあります。（除夜の鐘、年越し、おせち、お年玉、お正月遊び…）是非、ご家庭でも話題にしてください。

南台 校長室だより

速報：6年社会科見学～国会・ユニセフハウス

※できるだけ早く社会科見学のことをお伝えできるようHP掲載でお届けします。

借り上げバスを使った校外学習の最後は6年生です。12月25日という最終日になりました。各見学地の抽選や人数制限により後期後半最終日になりました。見学の仕方各学級毎に動く変則での実施です。1組は(国会)→(憲政記念館)→(ユニセフハウス)、2組は(ユニセフハウス)→(憲政記念館)→(国会)の順です。わたしは1組のバスに同乗しているので、国会→ユニセフハウスとお伝えしますが、2組は逆の順番です。

青空の下、出発の会を行い下級生やたくさんの先生方に見送られながら出発しました。コロナ禍で6年生は移動教室も連合運動会もできなくなってしまいました。その分、周囲も6年生を気にかけていました。今年、バスを使ったたった一度の校外学習、学習をしながら思い出づくりもして欲しいと願っての出発です。車中ではクイズを中心としながらのバスレク、車窓から官公署街を楽しみながら、(バスでは「左が皇居です。右が最高裁判所です。」という案内も聞こえました。)国会に到着しました。

とても贅沢な貸切状態の国会見学

参議院見学は感染症予防のため、一列で約1mの距離での見学です。体験プログラムは定員200人の席に本校1学級単独の30人で内閣委員会、本会議の体験です。議長、委員長、大臣役等各学級それぞれ10人が体験しました。通常は他校と合同で5～6学級で実施です。参議院見学も本校1学級だけの貸切状態で傍聴席に全員が座って全ての説明を聴くことができました。最後の記念撮影も待つこともなくゆっくりみんなで写り、憲政記念館での昼食も場所を心配することなく過ごすことができました。とても贅沢な見学にです。25日最終日ですが、予約がとれ見学ができて本当によかったです。



たくさんご配慮いただいたユニセフハウス

30人程度に絞り、ボランティアガイドができない中、iPadでの動画紹介、各コーナーへの消毒液等、配慮の中での見学です。「募金以外のことでできることはありますか？」という質問に、「今は募金だけれど、そこから中学、高校…大人になる間にきっとできることは見つかるから考えて欲しい。」と回答いただきました。ユニセフ協会のHPに「教えて！ユニセフ 子どもと先生のひろば」があります。是非、ご覧下さい。



南台 校長室だより

令和2年度 新1年生保護者会版(号外)

新1年生保護者会に当たって

本日は寒い中、新1年生保護者会（入学手続き書類の配布）にご来校いただき、誠にありがとうございます。

本来なら、本日は体育館等を会場に様々な内容をご説明させていただき、本校の教育活動並びに入学までの準備について考える時間をとることになっていました。しかし、新型コロナウイルス感染症流行に伴う緊急事態宣言下でもあり、できるだけ皆さんが集まることを避ける方法で書類配布と回収、そして各種のご相談を受けることを中心に実施させていただきます。実施方法の変更への対応をありがとうございます。また、実施内容の変更の連絡に当たり、近隣の関係幼稚園保育園（南中野ファミリー幼稚園保育園）には事情をご理解の上、お手紙の配布に多大なお力添えをいただきました。これも日頃の保幼小連携の賜とありがたく思っています。

- ①入学準備に必要な書類は、本日配布させていただきます。本日提出が必要な書類に絞ってご記入、ご提出をお願いします。学用品コーナーには実際に使う物が置いてありますので、ご確認ください。近くに担当の教職員もいますので、ご質問もお受けします。声をおかけください。
- ②通学路の確認もあります。4月から旧新山小校舎に移転をします。新しい通学路を地図でご確認ください。在校生は2月～3月にかけて実際に登校の練習を行います。入学前に新1年生と保護者の方と一緒に実際に歩いて確認することが必要だと思います。よろしくをお願いします。
- ③相談コーナーでは学校生活全般、健康面、食物アレルギーについて、感染症予防、学校生活全般、その他心配事等も相談できます。希望される方はご活用ください。
- ④昨年度の入学式は感染症対応のため、校庭での実施でした。当日までに変更等もありますので、本校のホームページを定期的に関覧してくださるとありがたいです。また、入学までの連絡は学校情報配信システムで実施します。確実な登録をお願いします。
- ⑤入学準備にかかわる説明内容を動画で配信します。この配信情報も情報配信システムでお伝えします。

本校は連携教育を重点的に推進し、近隣幼稚園保育園と共に保幼小連携にも力を入れてきました。本年度はコロナ禍で様々な交流活動を予定通り実施できずにいます。しかし、幼稚園保育園の協力を得て、その時々を実施できることを進めてきました。これから卒園に向けての大事な時期です。幼稚園保育園での思い出をたくさんつくってください。そして、新1年生の皆さんが入学を楽しみに、「わくわく感」をもって入学を迎えてくれたらと思います。年長の皆さんが元気に南台小に通ってくることを応援しています。

＜写真は、今年度実施できた連携、交流、体験の一部です＞

【本校1年生の学習の様子の見学】



【本校玄関での保育園作品展示】



【本校での小学校教室体験】

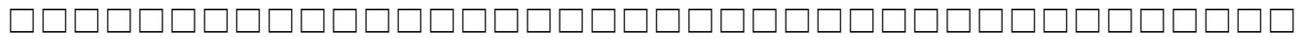




南台 校長室だより

令和2年度

No. 72



「かっぱまつり」の「過程」で…

この南台地域の秋の最大イベントの地域行事に「かっぱまつり」があります。防災にも関連させた南台地域の大切な地域行事です。今年は当日の実施を見送ることになりました。準備は90%以上進んでいましたが感染症の流行状況からみての判断ですから仕方ありません。

このかっぱまつりの準備は学校が再開された6月から進んでいました。準備から当日、その後までを振り返ってみます。

学校では、「つなごろう!南台」をテーマにコロナ禍でも地域との連絡、連携を絶たないように「南台小学校関係7町会自治会学校連絡会」として校舎移転に伴う対応と学校地域連携についての相談を続けていました。このおかげで学校再開時の分散登校の際の地域町会の方々による登下校見守りが実施できました。

この打ち合わせに途中からみなみ児童館の竹之内館長も参加し、かっぱまつりの検討を続けてきました。実行委員会の立ち上げが進み、その後、実行委員会での検討となり、テーマは「かっぱまつり2020~つなごろう!南台」となりました。

地域の皆さんが検討の際、常に心がけていらっしやっただのが、感染症対策は万全に進めることを前提に、次のようなことでした。

- ①防災も兼ねたこの南台地域恒例のかっぱまつりを実施するにはどのようなことが大切にしていけるか考えよう。
- ②遠足や移動教室、音楽の演奏発表等の機会が全くなくなってしまった子供たちのためにもどんなことができるのか考えよう。
- ③安易にできない、やらないではなく、何ができるか、どうしたらできるかをまず考えていこう。
- ④実施が難しく見送りとなれば、すぐに取りやめられるようにする。そのために取りやめのダメージがないような実施計画にしよう。

話し合いを重ね、準備をしてきましたが、当日の見送りが10日前に決まりました。その後すぐにお手紙での取りやめの通知があり、子供たちにはひとつずつ手作業で詰め合わせた景品を各教室で担任から渡しました。景品はアレルギー等個々にご配慮いただき感謝申し上げます。その際に、各町会長さん方からのメッセージVTRも全員が見て自分の所属防災会も再確認しました。(区民活動センターでも放映予定です。)

子供たちが描いた「かっぱの絵」は児童館の方が体育館入口に掲示してくださり、みんなで楽しみました。みんなでつくる予定の掲示は児童館内で作成、来年度に生かすように保管されます。また、実行委員会より学校に「つなごろう!南台」の横断幕もいただき、代表委員会に渡し、正門横に飾っています。これも旧新山小移転後も残りつながるものです。

当日の実施はできませんでしたが、ここまでの「過程」の中で、子供たちは確実に地域の方々の思いを感じ、地域を身近に感じ、地域への愛着を深めているのではないかと思います。今、代表委員会の子供たちがお礼をどうしようかと相談しています。

「かっぱまつり」の「過程」は子供たちの内面の成長に生きています。



南台 校長室だより

南台ハート週間2月は 本校重点「感謝」

～道徳授業地区公開講座（南台ハートの日）に代えて

本年度、「南台ハートの日（道徳授業地区公開講座）」→（全学級、道徳授業を地域保護者の方向けに公開し、子供の心の在り方や心の育ちについての懇談を実施）は実施することが難しいので、ここまで毎月の「南台ハート週間」の様子をお伝えしてきました。本校では、道徳教育の重点的な推進のために、毎月の重点内容を決め、南台ハート週間を設けています。道徳授業だけでなく、学校の生活、学習の様々な場面で、朝のおはようから帰りのさようならまで道徳教育のチャンスが数限りなくあります。（学校以外、地域やご家庭での児童とのかかわりの中にもたくさんあります。）その全ての教育活動を通して、児童自身が心を育てていくことが道徳教育だと考えています。そのためにも学校、家庭、地域の連携とかかわりは重要だと考え、お伝えしてきたところです。

1月の重点内容の「C：伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」でした。

1月25日～29日の間に下記の教材で道徳授業を下記の教材で実施しました。（若干変更している学級もあります）

- 1年：みつけて みよう 2年：ながい ながい つうがくろ
- 3年：ぼくの おべんとう 4年：ふろしき
- 5年：親から子へ、そして孫へと 6年：白神山地

このことに関連できる教育活動も多岐に渡っています。給食関係の献立だけでも抜粋すると多彩で驚きます。8日の七草ライス、12日の南台小お正月献立から始まって地産地消にも関連付けた小正月おこわ、先週は学校給食週間で〇〇県の郷土料理（山形、山梨、秋田、鹿児島）と並びました。広く見れば、和食の彩や箸の持ち方等にもつながります。着物、行事…今年は2日が節分、そして立春も過ぎました。季節にまつわる日本やふるさと、郷土そして地域のよさがあります。考えていきたいことですね。

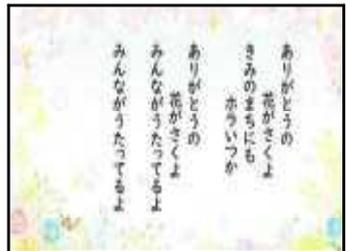
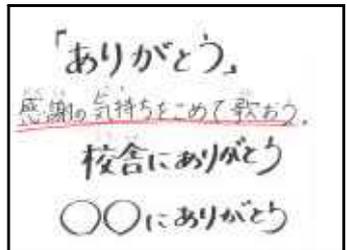
「ありがとうの花を咲かせよう」～様々な教育活動の関連から

2月の重点は「B：感謝」です。年間を通した本校の道徳教育の最重点「B：感謝」です。この学校の重点を受けて、学級でも重点的に取り上げている様子もたくさん見られます。

「南台ハート週間」で道徳の授業を取り上げていますが、この授業と同様に日常の学習、生活、そして学校行事等の中にも「感謝」に関する内容は存在します。これが全教育活動における道徳教育です。学校以外の日常生活の中にもあります。これは家庭、地域での道徳教育です。

1月の歌は「ありがとうの花」でした。音楽朝会では音楽専科準備のプレゼンテーションを使って教室でロパク、ハミング唱での朝会となりました。その中でも「〇〇にありがとう」という部分を大事にした実施でした。その後、代表委員会のTA（楽しくあいさつ）キャンペーンの中で手話でのあいさつも取り上げられ、「ありがとう」も手話で返してみました。（調べてみてください）

更に、各学年でのペイントを中心にした「校舎の思い出プロジェクト」も子供たちの手で進んでいます。児童会のテーマは「ありがとうの花を咲かせよう！」です。子供たち自らが、学校の様々な行事、学習を関連付けいくことをたいへんうれしく思っています。2月から3月にかけて、「感謝」でつなぐ年度末にしていきたいと思います。



南台 校長室だより

速報：4年生 TOKYO GLOBAL GATEWAY

※今年度、最後の借り上げバスでの校外学習です。貴重な体験でした。速報でお伝えします。

今年度最後の校外学習です。4年生が東京英語村（TOKYO GLOBAL GATEWAY）に行ってきました。この校外学習は今年度からの中野区の4年生一斉の事業です。4年生は貸し切りバスでの2回目の校外学習となりました。担任の先生たちは前回の浅草の時と同じように全て準備して時間通り集合をイメージしていました。結果は…晴れ渡った青空の下、その通り時間に集まって始まりの会がスタートです。集まり方も話の聞き方も10月とは大きな違いがあります。これはバスの中でも同じでした。先生の話に落ち着いて耳を傾ける姿に頼もしさも感じました。たくさんの先生方に見送られてバスは出発しました。道路状況はとてもよく30分で到着しました。<TGG到着 クラスで記念撮影>看板を眺めながら入館の案内、そして記念撮影を済ませ、これからの英語体験にドキドキしている中でエージェントの登場です。ネイティブの英語に触れながら9つのグループ毎にチャンツやゲームでコミュニケーションを深め、エスカレーターを上って英語体験コーナーへ！南台小はホテルゾーン（TGG Hotel/Gateway Market/Get Well Clinic）とエアポートゾーン（TGG Airlines/Airport Souvenir Shop/World Bistro）に分かれての体験です。ネイティブとの英語の世界を体験するために、私たちも記録以外は中への立ち入りはできません。だんだん笑顔で英語を話す子供たちを頼もしく思いました。



あっという間の1時間半の体験を終え、昼食場所にエージェントが送って来てくれました。少しほっとした様子で無言で昼食をとり、その後おしゃべりを楽しみました。子供たちは穏やかに助け合っている様子が見て取れます。あたたかい優しさを感じました。午後はゾーンの入れ替えです。お迎えのエージェントに喜びながら学習をスタートさせました。午後もたっぷり1時間半、ネイティブの英語に触れることができました。エアポートゾーン、ホテルゾーンのそれぞれの内容は是非、子供たちから聞いてください。様子が分かるように写真を掲載します。TGGのHPをお子様とご一緒に見ることもお勧めです。帰りの集まりの際、「自分たちは英語に触れたんだ！！」という自信のある顔をしている子供が大変多かったと思います。4年生にとって2回目のバスでの校外学習、前回からの成長や4年生の優しさ、穏やかさを強く感じました。5年生、高学年まで2か月です。





南台 校長室だより

令和2年度

No. 76

学級と授業づくりへの支援

先週土曜に今年度最終のPTA運営委員会が開催され、新旧運営委員の引継ぎも行われました。わたしは本校のPTA活動を次のように思い、その活動に深く感謝申し上げます。

運営委員、クラス委員の方々、保護者の皆様の「学級と授業づくりへの支援」に感謝しています。本校のPTA組織は区内で最もスリム化され、しかも効果的なものだと思っています。

よく見える活動では、入学式での説明や運動会の受付を始め、この運営委員会、手紙の配布等があるかと思えます。クラス委員の皆さんの仕事に茶話会等がありますが、本年度はコロナ禍で保護者会での茶話会も実施はできませんでした。しかし、保護者会の様子を学年から聞くと、大変なごやかに進み、例年とまではいきませんが、担任はもちろん、何とか皆さんとのコミュニケーションも図れたのではないかとと思っています。

わたしはそれ以上に本校には「見えない」(見えにくい)素晴らしい支援があると思っています。それは「教職員が学年学級専科経営とよりよい授業づくりに邁進」できる環境ということです。冒頭の「学級と授業づくりへの支援」とはこのことです。

このことは、活動のスリム化とも関係があります。PTA活動がスリム化されているので、教職員が直接大きくかかわることはありません。このスリム化の中でも安心安全等の必要なことは十分に運営委員の方々とは打ち合わせができ、今回の新たな通学路についても共に現地を歩いて設定することができました。一方、授業での直接的な手助けが必要な場合はお声をかけていく中でボランティアとして活動していただいています。現在、図工ボランティアの皆さんのお陰で「校舎の思い出プロジェクト」が進んでいます。

そして、何より大きい見えにくい支援は、様々なことを決められない時に待っていただき、時間をいただいていることです。コロナ禍の今年度、様々な行事が計画通りできませんでした。一例を挙げると運動会も延期し実施方法をずっと検討していました。この間、ずっと待つ時間をくださったお陰で運動会が実施できました。人にあげて最も喜ばれるものは「時」とも言います。半年過ぎた今でも大変ありがたく思っています。

コロナ禍で苦勞されたこともあったと思います。1年間のPTA活動、本当にありがとうございました。

教科学習のねらいに基づいたオンラインの活用

本年度、全校で集まることができないのでGoogle Meetを活用した朝会・集会を進めました。画面を生かした文字や写真をよく使う朝会でした。学習でも様々な場面で活用しましたが、その教科の学習のねらいに基づいたオンラインの活用も進みました。いくつかご紹介します。これもコロナ禍での本年度「地域ふれあい学習」のひとつです。

- 1, 2年 生活科「学校たんけん」
 - ・ 1, 2年各クラス同士を結んで交流する。
- 3年 総合「未来へつなげ！南台小」
 - ・ 新校舎に移った美鳩小の校長先生に校舎のことを質問する。
- 4年 社会科「豊かな自然を守り生かす八丈島」
 - ・ 八丈島の方と交流し、インタビューする。
- 5年 社会科「水産業のさかんな地域」
 - ・ 育てる漁業について愛媛県愛南町漁協の方と交流し、質問する。
- 6年 社会科「わたしたちの生活と政治」
 - ・ 地域の税理士さんによる租税教室を実施する。



南台 校長室だより

転入の情報をお寄せ下さい 来年度の児童数と学級数（3月18日現在）

学年	新1年	新2年	新3年	新4年	新5年	新6年	合計
児童数	78	85	78	80	72	72	465
学級数	3	3	2	2	2	2	14

新1年、新2年は35人学級対応なので3学級編成です。新3年と新4年は3学級から2学級への学級減です。今後、転出の予定がある方は必ず担任までご連絡ください。また、その可能性のある場合も同様にお願ひします。

それ以上に転入の情報があれば是非お寄せください。現在の児童数だと新4年があと1名、新3年があと3名で3学級編成になります。4月7日までの年度が変わってからの転入では学級数は変わりません。もし、お知り合いの方やご近所等の方で転入の情報がありましたら、即座に学校に連絡するようお伝えいただけるとありがたいです。学校では状況を見ながら2学級と3学級、どちらの準備もしています。

「ボランティアマインド」と「地域に貢献できる力」

開校から3年、教育目標「地域に生きる南台の子」のもと、「地域コミュニティの核となる学校づくり」を進めてきました。3年間の積み重ねの中で、ある程度安定した教育活動が進められるようになってきました。地域の支え、保護者の方々の理解、そして教職員の常なる努力があったからだと考えています。様々な方々の本校への心寄せを感じることも多く、たいへんありがたく思っています。このことは児童にも伝わっていて、地域も含めた様々な場面で子供たちが積極的に参加、活躍するようになってきました。周囲の方々の支えの「ボランティアマインド」が児童の「ボランティアマインド」につながっているのだと思います。…（中略）…先に触れましたが、「連携」と「ボランティアマインド」をキーワードに2020学校レガシー（地域・学校レガシー）を構築し、移転後の教育活動に生かしていくことが求められていると考えます。

そして、子供たちには、将来「地域社会に貢献できる力」を身に付けていって欲しいと願っています。

上記の内容は昨年2月、「南台 校長室だより」に掲載した内容です。オリパラは延期となりましたが、この1年間、様々な地域、保護者の方の支援を子供たちも感じ取り、校舎とのお別れも含め、このコロナ禍でも自分たちも何かできないかということを考える場面も数々見られました。これは、「つなごろう！南台」のテーマを地域でも共有していただいたことも大きかったと思います。きっと校舎とのお別れを通して地域や学校を大切に思う心も自分で育てていると思います。（右の写真は校舎の思い出プロジェクトセミナー編で南台小4年間を振り返っている場面です。）



<（画面）平成29年4月6日 開校宣言の日>



南台 校長室だより

令和2年度

No. 79

つながりを感じること…

今年度は「つなごろう!南台」をテーマに掲げ、取り組んだ1年間でした。「学校、地域、家庭の連携」、「児童相互、児童と教師のかかわり」、「様々な学習をつなげること」、「ボランティアマインドの醸成」等をキーワードとして挙げました。オリパラを意識しての取り組みも考えていましたが、感染症流行による学校休業もあり、とにかく会うことができなくても、つながっていると感じられることが大事だと考え取り組みました。

地域、保護者の方々の後押しもあり、表題の「つながりを感じること」が幾度もありました。ありがたいことも数多くありました。最近のことを少しご紹介します。

2回の登校練習ではたくさんの方々の見守りにお世話になりました。学校再開時の1日4回の登下校見守りをはじめとして、この1年、様々な場面で安全にかかわる見守り活動にお世話になりました。子供たちもそれを当たり前のことではなく、すごいこと、ありがたいことなのだと感じているのではないかと思います。6年生が卒業の記念に地域の方々に安全の旗とタスキを作ってお渡ししました。(色は南台カラーのネイビーブルーです)地域の方と子供たちとのつながりを感じています。

校舎の思い出プロジェクトアート編でお手伝いいただいた「図工ボランティア」の方々が、映像記録を作成してプレゼントしてくださいました。BGMはもちろん「ありがとうの花を咲かせよう」です。図工専科を始め、職員室にいた教職員はこのプレゼントに大感激でした。「がんばっているといいことがあるね。」としみじみ話しました。強いつながりを感じます。いただいた映像記録を最後の給食の時に各学級で見る予定です。ありがとうございました。様々な教育活動を関連付け、つながりをもたせたこの「校舎の思い出プロジェクト」が人と人とのつながりをも強めているのだと思っています。

こういった「つながり感」をもてることは今年度の大きな成果のひとつです。校舎移転になりますが、これまでのつながり以上に、また新たなつながりが待っていると捉えています。何よりこの強い「つながり感」に支えられている学校であることを強く意識し「地域コミュニティの核となる学校」を目指し、更に次年度のよりよい教育活動を進めていくことを心新たにしています。



＜6年生から地域の皆さんへ旗とタスキの贈呈＞



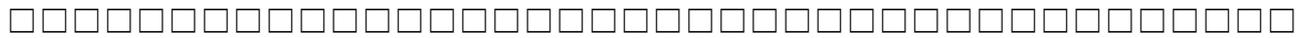
＜図工ボランティアの皆さんからの映像記録＞



南台 校長室だより

令和2年度

No. 80



第4回卒業式ご報告

～何事にも前向きに取り組む あこがれの6年生～

第4回卒業式を無事挙行し、この校舎から巣立つ最後の卒業生が胸を張って卒業していきました。保護者の方は2名まで、合唱、合奏、呼びかけを生で行うことができないという制限下でした。5年生は前日に6年生との引き継ぎを行い、当日はオンラインで多目的室から参加しました。式の様子を写真と式辞の抜粋でご報告します。



＜式辞抜粋＞ 皆さんは、この一年間、南台小学校の最高学年、「南台の顔」として、実によく学校全体のことを考えて活動してきました。下の学年のみんなはあこがれていました。6年生があこがれの存在であれば、学校は大丈夫と言われます。皆さんのどこがあこがれなのでしょう。わたしは、「何事にも前向きに取り組む」ことだと思っています。

感染症流行のため、日光移動教室が取りやめ、運動会も延期で学年ごとの競技、学芸会も学習発表会として分散しての実施でした。でも、その中でできることを考えて取り組んでいる姿に前向きさを感じていました。それだけに留まらず、TAキャンペーンとしてあいさつ運動も考え、TAキャンペーン2+まで発展しました。医療従事者の方にエールを送ることも考え出しました。さらに校舎の思い出プロジェクトのテーマ「ありがとうの花をさかせよう！」も6年生が考え出したものです。昨日は音楽隊の演奏もできました。

だから皆さんは「何事にも前向きに取り組むあこがれの6年生」です。この逆境の中でのその姿は在校生だけでなく周囲の大人にも元気を与えました。わたしもその一人です。ありがとう。

皆さんと一緒に学習した星野富弘さんのようにただひたすらに努力する姿、前向きに取り組む姿はとても美しいものです。その時の心もちをしっかりと思い起こして、これからこそ、大切にしてください。これからは役に立てください。皆さんならきっとできます。それはきっと皆さんの人生を豊かにしてくれるものです。

本日、たくさんの方々にお祝いされて、卒業できる幸せを当たり前と思わずに、ありがたいことだと思ひ、皆さんには誇りを持って歩んで行ってほしいと思います。

卒業、本当におめでとうございます。この校舎から巣立つ最後の卒業生の皆さんの限りない幸せを心からお祝いし、私の式辞といたします。

式後、満開の桜が見守る中、校庭で5年生の司会で卒業生の門出を送りました。この校舎での最後の卒業式、様々な方のご理解、ご協力があって挙行できたと思っています。そして25日、最高学年になった5年生が体育館、1～4年生は各教室、オンラインでつないで修了式を行いました。その後、各教室で代表児童に修了証を渡しました。コロナ禍で様々な制限のある中、子供たちは大変がんばりました。

「つなごろう!南台」のテーマで取り組んだ1年間、皆様に深く感謝申し上げます。